

地球市民フォーラム

世界の子どもたちは今 生きる力ってなんだろう？

武力紛争や貧困、エイズなど、厳しい状況下で生きる子どもたちの「今」を知るとともに、彼らの「生きる力」を支えるNGOや国際機関の働きについて学ぶフォーラムを開催します。また、「世界の子どもたち」に関わる映画も上映します。



フォーラム&映画 1月15日(土)・16日

10:30~12:00 映画『戦場の夏休み～小学2年生の見たイラク』
13:00~15:15 若者のボランティア体験談など
15:30~17:00 映画『忘れられた子供たち～スカベンジャー』
15:30~17:00 国際協力座談会

写真展&絵画展 1月8日(土)~16日(日)

『アフガン夜明けの国』(JICA)
アフガニスタンの人々の生活の様子を捉えた写真56点を展示。
『イラクの子供たちの絵画展』(日本国際ボランティアセンター)
イラクの子供たちが描いた絵15点を展示。

問合せ 国際協力課 TEL:045-896-2964

地球市民学習地域セミナー&リーダーセミナー

地域セミナー in 相模原「外部講師と連携してつくる国際理解教育」
2つの事例を取り上げ、学校と外部講師の両者が協力して授業を実践する方法を考えます。

日時:2005年1月22日(土)13:30~16:30
場所:神奈川県国際学生会館湘野辺・1階研修室
(JR横浜線「湘野辺」駅南口徒歩3分)

外国人住民との連携協力～
さがみはら国際交流フロンティアの講師派遣事業から～
国際協力経験者との連携協力～
JICA国際協力出前講座を利用して～
コーディネーター:杉澤経子さん(武蔵野市国際交流協会)

第4回地球市民学習リ-ダ-セミナー・まなびの道具箱
「環境・開発・人権・平和 持続可能な社会をつくる横系をつなごう」
～「国連・持続可能な開発のための教育の10年」の開始にむけて～
環境・開発・人権・平和に関するNGO活動や地球市民学習に関心のある人たち
で情報交換をしながら、「学び」の実践を考えるセミナーです。

日時:2005年1月30日(日)13:30~16:00
場所:あーすぷらざ1階大会議室(JR根岸線「本郷台」駅徒歩3分)
講師:森 良さん(特活)エコ・コミュニケーションセンター(ECOM)代表
内容:グループワーク「環境・開発・人権・平和～問題と活動のつながりを考える」
「持続可能な開発のための教育の10年」解説

参加費:無料
申込み:企画情報課(担当:山内)

TEL: 045-896-2896 FAX: 045-896-2945 E-mail: kikaku@k-i-a.or.jp

民族音楽ワークショップ

「世界の民族楽器で遊びましょう」～みんなで叩いてハジケましょう～

民族楽器(ジャンベ、アングルン、スチールパンなど)の紹介やデモ演奏を行います。それぞれの楽器が生まれた文化的背景を知り国際理解を深め、みなさんで実際に演奏に挑戦してみましょう。楽器の魅力を満喫してみてください。



日時:1月29日(土)13:30~16:00
1月のデ-マ「リズムにのってメロディ-を奏でよう」
参加費:展示室観覧料
(大人500円、高校・大学生300円、小中学生100円、幼児無料)

問合せ 地球市民学習課 TEL:045-896-2899

じゃんじゃんおしゃべりワールド

世界の各地から来日した留学生などの講師が、出身地の暮らしや文化を日本語で案内します。第1部は映像や展示物などを使ったお話コ-ナ-、第2部はこどもの遊びや民族衣装の試着などの体験コ-ナ-となっています。



日時:毎週日曜日 14:20~
場所:あーすぷらざ5F こどもの国際理解展示室
内容:1月16日中国、23日アフリカ、30日韓国
*都合により内容が変わることもありますのでご了承ください。
参加費:展示室観覧料のみ
(大人500円、高校・大学生300円、小中学生100円、幼児無料)

問合せ 地球市民学習課 TEL:045-896-2899

有料施設のご案内[プラザホール]

講演会をはじめ、各種研修会、簡易な音楽会やシンポジウムなどの開催にご利用いただけます。

区分		平日		土・日・休日	
		AM9~PM5	PM5~PM10	AM9~PM5	PM5~PM10
プラザホール (226席)	入場料あり	4,500円	5,200円	5,650円	6,500円
	入場料なし	3,000円	3,450円	3,750円	4,300円



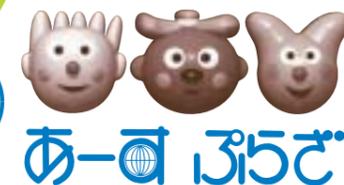
発行:神奈川県立地球市民かながわプラザ(JR根岸線「本郷台」駅下車徒歩3分) <http://www.k-i-a.or.jp/plaza/>

企画・編集:(財)神奈川県国際交流協会 <http://www.k-i-a.or.jp>
〒247-0007横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1 問合せ:TEL045-896-2121 FAX045-896-2945

休館日:毎週日曜日休館(祝日の場合は営業)

地球市民レポート THE GLOBAL CITIZENSHIP REPORT

NO.21
2005/1



Q
これなんだろう
?



A 答えは、モンゴルの「ゲル」という建物です。ゲルとは、モンゴルの遊牧民(ゆうぼくみん)の伝統的な丸い形をした家のことです。丸い形は、草原をふき抜ける強い風をまともに受けないようにする知恵(ちえ)でもあります。遊牧民は、馬や牛をつれて季節とともに移動します。ゲルは、遊牧民が季節によって移動できるように、分解、組立てができます。



モンゴルの大草原



5F こどもの国際理解展示室

プラザ5F「こどもの国際理解展示室」は、子どもたちのための「世界の暮らし、発見! 感動! 共感!」の広場です。ここでは、ゲルの模型が展示されていて、テ・マ別ワ・クシートを使って調べ学習をしたり、世界のさまざまな事柄について考えることができます。展示やモニターを見ながらゲルや世界の家についてしらべてみませんか。



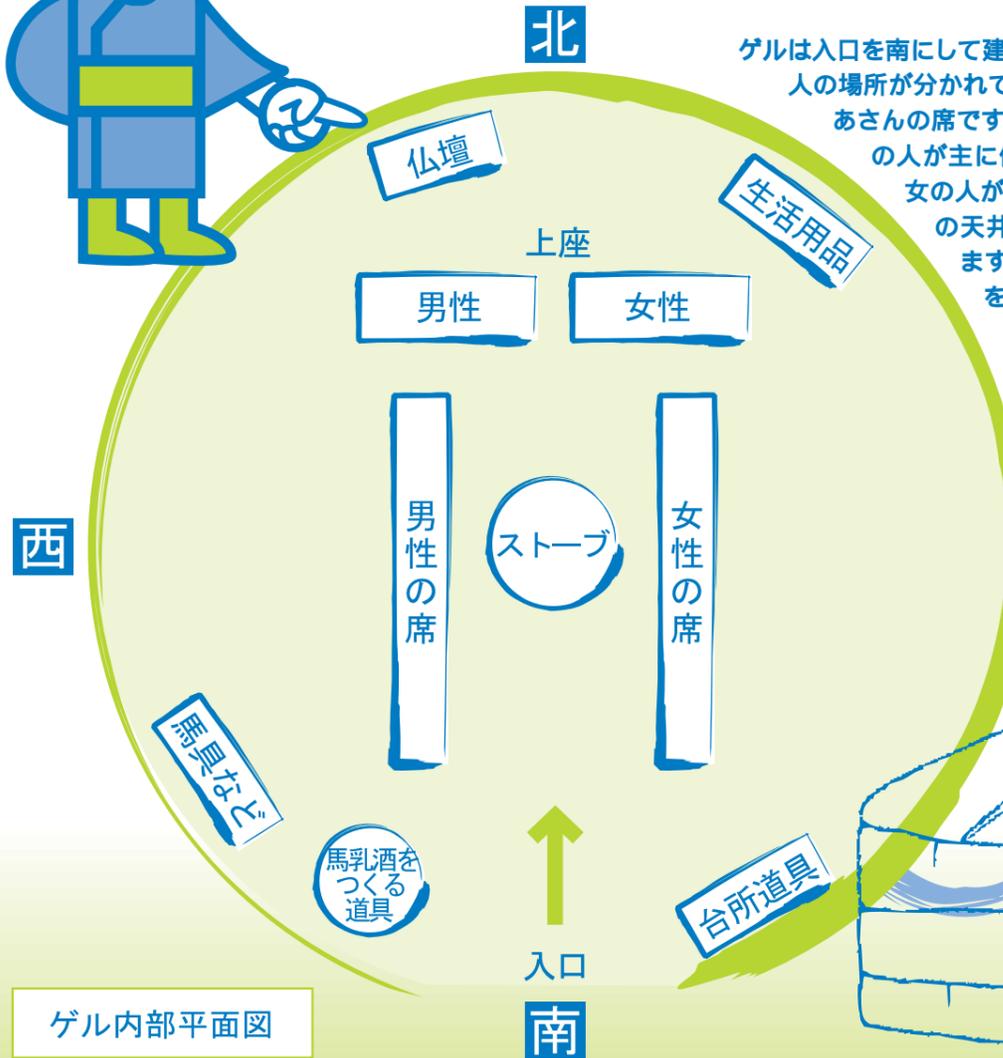
モンゴルって
どんな国?

モンゴルは、中央アジアの東部にあります。国の面積は日本の約4倍あり、その80%近くが草原地帯です。どこまでも続く草原の国、それがモンゴルです。

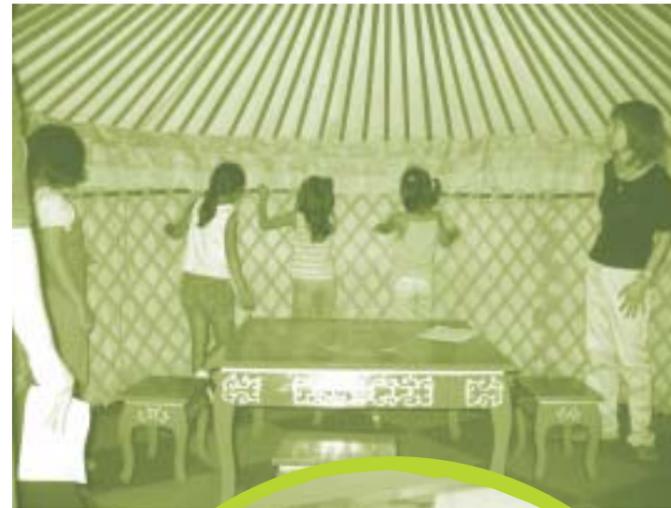
気候は寒暖の差がはげしく、雨が少ない乾燥気候です。人口は約240万人います。その約90%がモンゴル族と呼ばれる民族で、モンゴル語を話します。

「馬頭琴(ばとうきん)」はモンゴルを代表する楽器です。「ス・ホ・の白い馬」は、馬頭琴がどのようにしてできたかというお話です。あ・すぶらざに来て、本物の馬頭琴を見てみよう。

ゲルの中はどうなっているのかな?



ゲルは入口を南にして建てます。家の中では男の人と女の人の場所が分かれていて、一番奥がおとうさんとおかあさんの席です。使う道具も、馬具(ばぐ)など男の人が主に使うものは左側、料理の道具など女の人が使うものは右側に置きます。ゲルの天井(てんじょう)には丸い窓があります。この窓はゲルの中の温度調節を行うため、閉じたり、開いたりすることができます。ゲルの中には、洗濯機(せんたくき)、冷蔵庫(れいぞうこ)、テレビなどがあります。ゲルは移動式ですが、本格的な住居です。



ゲルを使った小学校の授業風景



2F 2F映像ライブラリ - には、モンゴルに関する図書やビデオがあります

図書

世界の子どもたちはいま17「モンゴルの子どもたち」
株式会社学習研究社

「モンゴル100の素顔」
東京農業大学出版会

「モンゴルまるごと情報局」
トラベルジャ - ナルなど

ビデオ

「現代モンゴルの二つの世界」
「モンゴル遊牧民のすまい」
「馬乳酒の祭り」 など

ゲル内部平面図